

「命の繋がり」

私たちは日々、様々な悩みを抱えながら生きています。大人には大人の、子どもには子どもの悩みがあります。

以前、ある雑誌を読んでおりました時、とても印象的な特集が掲載されていました。それが「親にはわからない『小学生の悩み事』ランキング 10」というものでした。ランキングを見ていきますと、一番多かった悩み事が「なぜ勉強しなくてはいけないのか」というものでした。多くの小学生が抱えているストレートな質問です。

次に多かったのが「友達ができない」というものでした。これも多くの子どもが抱えている切実な悩み事でしょう。30 歳まで若年者の死亡原因の 1 位が自殺という事実に関係する「ぞっとする」回答です。そして 3 番目はこの事に起因するのでしょうか「死んだあと、どうなるのか」という問いだったのです。

皆さんは「死んだらどうなると思いますか」と聞かれたらどのように答えられますか。「無になる。いなくなってしまう」という答えが多い様ですね。では、皆さんのお母さん、お父さんが死んだら、という質問をすると「近くにいてくれる。見ていてくれると思う」と変化していきます。

先日、幼稚園でこんな出来事がありました。その日は宗祖命日で「命」と「死」についてお子様にお話しをしました。ある 5 才の女の子がちょうどお迎えに来たお母さんに「ねえ、ママ、ママが死んだらどうなるの？」と問いかけると、間髪を入れずにそのお母さん、「大丈夫、いつもいっしょよ。ちゃんと見ているから！」と答えられました。

そうですね、私たちの「命」は先祖からいただいたもので、このお母さんの答えの様に、ともにある「命」だと思います。ですから「生きている」ことを感謝するとともに「いただいた命をしっかりと生き切る」と自覚する必要があると思います。

理事長